



年頭のあいさつ

国家公務員共済組合連合会 名城病院長

伊藤 隆之

平成27年乙未の年頭にあたりご挨拶申し上げます。8月には戦後70年を迎える本年の平安を願い、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたします。

名城病院は三の丸官庁街の地で53年目を歩みます。昨年10月には、第63回共済医学会を開催しました。当会は連合会に所属する医療施設に勤務する者の学術及び技能の向上を図ることを目的とした学会で、全国34病院の医療に携わる多職種800名が名古屋に会しました。徳川美術館館長徳川義崇先生、名古屋大学総長濱口道成先生に特別講演いただきました。学会で得られた成果を地域医療連携、患者中心の医療の推進、良質な医療の実践につなげたいと思います。

名城病院に奉職して4年目、休

憩時に周りを散策し、以前の姿に思いを巡らせ、今回は明治から昭和(戦前)を振り返ってみます。

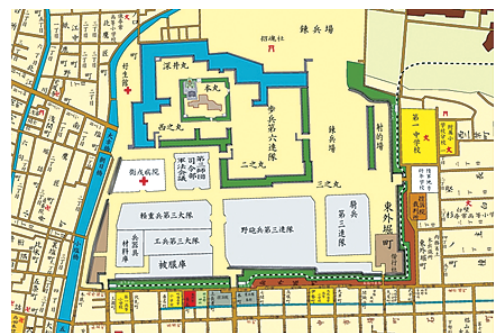
明治時代の三の丸には、戊辰戦争、明治4年の廃藩置県後の国内治安維持のため、明治6年に陸軍名古屋鎮台が設置され、明治21年に第三師団に改組されました。兵員2万5千名で、司令部(中将)が、現名城病院北隣におかれしました。歩兵第五旅団、歩兵第六連隊、騎兵、工兵、輜徴兵しちようへいがおかれ、日清、日露戦争、シベリア出兵、日中戦争、太平洋戦争に参戦しています。現病院の地は後方支援の輜徴兵第三大隊の兵舎でした。昭和3年に騎兵は戦車隊となり守山へ移動、その跡地に昭和8年市庁舎、同13年県庁舎が建設され、両庁舎は

幸い戦火を免れ現在も機能しています。両舎は登録有形文化財です。昭和10年には愛知県護国神社が移設されました。同神社は明治2年の戊辰戦争での死者25柱を祀り設立されています。

昭和20年5月、金鯪を抱いた名古屋城天守閣は空襲を受けました。

病院正面を北進すると、北隣に旧第三師団司令部外壁の赤煉瓦遺構、さらに北東の二の丸の西鉄門(枅形門、重要文化財)を通り抜けると旧歩兵第六連隊の記念碑が往時を語っています。

本年も職員一同力を合わせ本院の理念、より良い医療をより安全に提供できるよう誇りをもって推進いたしますのでよろしくお願い申し上げます。



高齢者対象

肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。

平成26年4月2日から平成27年4月1日の間に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳となる方および101歳以上の方を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。料金はお住まいの市町村により異なります。

名城病院で接種できますので、料金等詳しくは1階 医事課にお問い合わせください。

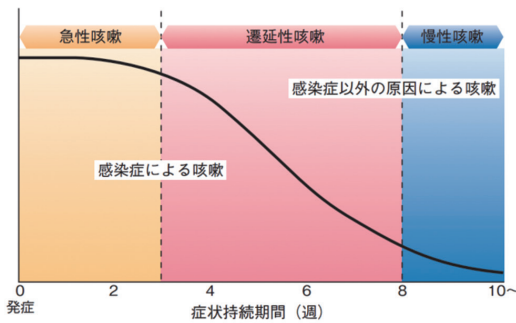
長引く咳…その咳、大丈夫ですか？



激しい咳が特徴的です。エアコンの風にあたり、寒暖の差や

咳は病院受診頻度が高い症状の一つであり、ほぼ全ての呼吸器疾患が原因になり得ます。1～2週間以上咳が続く患者さんでは、まず胸部X線写真を撮影し、肺炎、肺癌、肺結核、間質性肺炎など重篤化し得る病気の鑑別をします。胸部X線写真が異常ない場合、咳の持続期間により、3週間未満の急性咳嗽、3～8週間の遷延性咳嗽、8週間以上の慢性咳嗽に分類し、この分類から咳嗽の原因疾患があ

る程度推定できます。すなわち、3週間未満の急性咳嗽の多くは風邪といったウイルスなどの気道の感染症であり様子を見ても構いません。咳の持続期間が3週間以上と長くなるにつれ感染症の頻度は低下し、咳喘息、アトピー咳嗽、副鼻腔気管支症候群（後鼻漏）、胃食道逆流症などの慢性疾患が多くなります。ただし長引く咳の感染症として



は大人が感染しても単なる咳で済むものの、重症化しやすい子供へ感染を拡げてしまうことがあるため注意が必要です。

これらの中で咳喘息は頻度が高く、夜中から明け方に出る

アルกอฮอล์摂取で咳が出やすくなることもあります。喘息の前段階であり、喘息のようなヒューヒュー苦しくなるという症状はありません。咳喘息を放置すると、本格的な喘息に移行してしまうことがあるので、早い段階で正しく診断し適切に治療することが大切です。治療は喘息と同様に吸入ステロイドや気管支拡張剤などを使用します。症状は数週間程度で良くなりますが、再発しないようにしっかりと継続的な治療を行う必要があります。

長引く咳には咳喘息以外にもいろいろな原因があり、時には重大な病気が隠れていることがありますので、そのまま放っておかず呼吸器内科の受診をおすすめします。

中央手術室の取り組みについて

当病院の中央手術室では年間2,200例ほどの手術を行っております。局所麻酔の小手術から10時間を超える大手術まで様々な手術を担当します。患者さんにとって手術は大きい・小さいにかかわらずとても不安なものでしょう。患者さんに手術前から関わりを持ち安心して手術室に入室していただくように術前訪問を行っています。私たち手術室看護師の業務の一つ、術前訪問をご紹介します。術前訪問の目的は、次の4つです。

- ・手術を受ける患者さんの情報を収集する
- ・その情報を基に安全な手術が

- 受けられるように準備をする
- ・直接患者さんやご家族との面接を通じて訴えや疑問を聞き不安の緩和に努める
- ・病棟看護師や医師との連携を図る

少しでも不安な気持ち、怖いイメージをなくしていけたらと思っています。

入院から退院まで途切れることなく継続した医療・看護を提供できるように担当医師をはじめ様々な職種で構成された「チーム医療」が重要であり、スタッフ間のコミュニケーションも大切にしています。また日々進化し続ける医療・看護の

知識や技術を習得すべく月1回の定期勉強会や院外のセミナーにも参加して安全で安心な手術を提供できるように日々努力を続けております。手術室の中ではみんな帽子をかぶりマスクをしているので、なかなか表情がわからないかもしれませんが患者さんに接するときは笑顔を忘れず、患者さんの立場で考えられる看護師を目指しております。



歯
科
口
腔
外
科

歯科
口腔外科

渋谷
英
伸

口腔外科をご存じですか？



皆さんは口腔外科と聞いて、どのような診療科がお分かりになりますか？

対象は、一般的な歯科で治療する虫歯や歯周病以外のお口の周囲に発生する病気全般です。

具体的には、抜歯（歯科医院では困難な親知らずや埋伏歯の抜歯、全身疾患があるため対応困難な抜歯）、歯に起因する炎症（歯茎や顔が大きく腫れる）、嚢胞（骨の中の膿袋）、顎関節症（顎を動かすと痛む、口が開きづらい）、お口の中の粘膜の異変（口内炎、痛み、お口の腫瘍）、外傷（口の周囲が切れた、歯をぶつけてグラグラする）、神経性疾患

（顔面神経痛）、味覚障害（味がしない、味が薄く感じる）、その他（口臭がする、お口の中の渇きが気になる、歯科インプラント治療等）、入院患者さんの口腔ケア等と幅広く取り扱っています。症状によっては、他科との連携が必要となることもあります。

特に最近では、味覚障害、口腔乾燥症、舌痛症などでお悩みの患者さんが増加傾向にあります。

当科では味覚検査や唾液腺の検査、口腔内細菌検査、問診をしっかりと行い、症状に応じて有効な漢方薬を積極的に取り入

れた治療をしています。

無痛治療をこころがけ、大きな手術での全身麻酔はもちろんのこと、小さな手術でも恐怖心の強い患者さんには静脈麻酔をお勧めしています。特に、親知らずの複数抜歯の際には、ほとんどの患者さんが静脈麻酔を希望され、好評をいただいています。

「顔面や口腔内に気になることがあるのだが、どこの病院に行ったらいいかわからない。」などの悩みをお持ちの方は、一度当院口腔外科に相談いらして下さい。担当医が患者さんに最も適した治療方針や対応策をご提示できると思います。

病
診
連
携
室

病診
連携
室

三
宅
喬

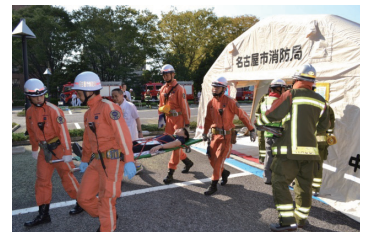
中区合同集団災害訓練を実施しました

名城病院駐車場において、名古屋市中区医師会、中消防署、名城病院合同の集団災害訓練を実施しました。名古屋城においてイベント用特設会場のステージの屋根が崩落し、多数の傷病者が発生した想定で、医師等医療スタッフ30名、救急・消防隊員30名、傷病者役11名参加のもと行われました。

救急・消防車両、防災支援車両などが数台配置され、訓練内容としては救急・消防隊が中心となった第一訓練と、医療救護班の医師が中心となった第二訓練の二部構成で行われました。

第一訓練では情報収集、救助から救護所設置、一次トリアージ*まで、救助訓練では実際に使用されるエンジンカッターやエアジャッキ、エアテント等を使用した通常では行えない訓練でした。第二訓練からは医師会医療救護班が加わり、二次トリアージから始まり応急処置、医療機関への搬送、申し送りまでのものでした。

この様に大規模な集団災害訓練は当院でも初めて行うものでありましたが、中区医師会医療救護班、中消防署隊員の現実さながらの迅速な行動のもと、無



事に終えることができ、当院にとって大変貴重な訓練経験となりました。

今後も地域における災害訓練に病院として協力していければと思います。

*トリアージ

災害発生時等に多数の傷病者が短時間で同時に発生した場合、最善の医療処置を可能な限り多数の傷病者の治療にあてるために、治療優先順位を決定すること

新
任
ド
ク
タ
ー
紹
介



砂場 鋼治 すなば こうじ 放射線診断科部長

昨年11月より画像診断医として着任しました、砂場鋼治と申します。よろしくお願いたします。CTやMRIなどの画像から病気を診断し、レポートにしてまとめる仕事をしています。病院に貢献できるようがんばります。

総合健診センター

総合健診センター 楠目恵子

総合健診センターからのお知らせ

新しい年を迎え気持ちも引き締まる思いです。平素は当院人間ドックをご利用いただき、ありがとうございます。

昨年度はAコース(1泊2日)、Bコース(日帰り)合わせて約2,000人の方にご利用いただき、健診の結果、要精密検査対象の方が4割いらっしゃいました。そのうち約6割の方しか二次検査を受けられていませんが、胃内視鏡検査(胃カメラ)にて早期胃がん2件、便検査で大腸がん1件が発見されています。

当院では、ドック受診後アフターフォロー体制として外来診療にて各分野の専門医による診療を受けることができ

ます。要治療の方はいうまでもなく自己判断なさらずに受診して頂くことをお勧めします。

要精密検査の方は健康診断結果送付時に「精密検査の依頼について」の用紙を送付しております。結果と一緒に持参し、受診していただくことをお願いします。検査結果については、ご予約いただければ無料で相談の時間もお取りしています。

ウェスティンナゴヤキャスルホテルのホームページに“名城病院人間ドック宿泊プラン”として1泊2日人間



http://www.castle.co.jp/wnc/

ドックプランが掲載されています。ストレスの多い今日、名城病院での人間ドックとウェスティンナゴヤキャスルで心身のケアとリフレッシュはいかがですか。宿泊のご予約・お問い合わせは総合健診センターでお待ちしています。

私たちと一緒に働きませんか?



看護師・助産師免許取得または取得予定の方、ぜひ一度病院見学・インターンシップにご参加ください。詳しくはホームページ 又は 052-201-5311 人事担当 岡島まで



編集

2015年は未(ひつじ)年です。我が国で羊と言えば、ジンギスカン料理とセーターを連想しますが、世界中で洋の東西を問わず、古くから人々の生活と密接な関わりをもっていました。青銅器時代の中国では、「祥(めでたい)」の意味で器の銘文にしたり、美・善の文字の成り立ちも羊を基に構成されているとのこと。生け贄に用いることから政治、宗教の上でも神聖な動物でした。本年は、衆議院総選挙後の新たな政策が、羊頭狗肉の策とならないことを願います。

後記

名城病院診療等のご案内

ホームページはこちら http://www.meijohosp.jp

診療科目 内科・循環器科・小児科(小児循環器) 外科・整形外科・心血管外科・脳神経外科 皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科 歯科口腔外科・神経内科

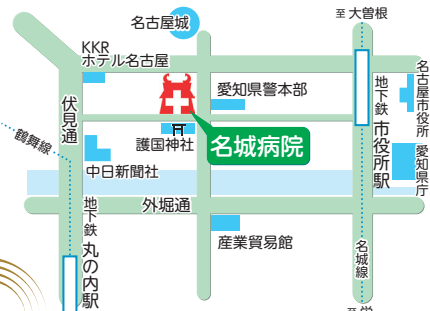
診察受付時間 [新患受付] 午前8:30~11:30まで [再来受付] 午前8:00~11:30まで

面会時間 [一般] 午後0:30~8:00まで [新生児] 午後0:30~8:00まで(授乳時間を除く) [ICU] 午後0:30~4:30まで(家族のみ) 午後5:00~8:00まで

診療案内 [休診日] 土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12月29日~1月3日)

所在地 〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1 TEL (052) 201-5311 FAX (052) 201-5318

お問合せは、 ・午後診療等、詳しくは、医事課まで(内線 2132) ・病診連携に関しては、病診連携室まで(内線 2151) 医療機関の方へ ・医療福祉に関しては、医療福祉相談室まで(内線 5105)



名城病院は、病院機能評価の認定を受け、よりよい医療を提供できるよう努力しています。